

2015年 第25回 二十五三昧会

ワークショップ

これからの地域福祉

6月21日 小堂にて **参加自由**

今回は下記の問題について皆さんで考えたいと思います。
これから自分の問題でもあるとの意識で、多数のご参加をお待ちしています。

要点

NHK 総合テレビ放送 / 東洋大学准教授 加山 弾氏の資料より

- ❖ 新たな主体・方法について知り、これからの地域福祉を考える。
- ❖ 住民、NPO、コミュニティビジネスによる支援の方法を学ぶ。

住民による制度外サービスと居場所づくり

高齢者宅での電球や蛍光灯の交換、簡単な清掃や庭の手入れ、家電製品の取付など、制度外のニーズが大きくなっている。これらは孤立化の初歩的なサインともいえる。そのまま誰からも支援がなければゴミ屋敷化や孤独死などの深刻な問題になりかねない。近隣同士で相互の助け合いが成立していた頃にはみられなかった問題が、今日浮上している。

地域全体が「目」となり、「助ける手」となる

地域で孤立状態にある人、社会的排除に遭っている人、また困っているにもかかわらず支援を求めない人、自力で支援を頼めない人など、地域に埋もれた問題は数知れない。幅広い地域の目で問題を早期に発見し、解決できる包括的なネットワークの仕組みを構築していくことが、どの地域においても急務だといえる。これまで想定されていなかった問題状況に対しては、新しい担い手の参入や新しい方法の開発が不可欠である。

※コミュニティビジネス

コミュニティビジネスに期待されるのは、地域の特性を生かした新しい地域社会づくりのほか、地域の再生・活性化、地域での雇用創出、生き甲斐づくりとしている。

檀信徒以外の方も、曹洞宗以外の方も、初めての方も、どうぞお気軽にご参加ください。

主催：観瀧山 岡本寺 TEL.072-793-0203